

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 24 日 (2022.1.24)

【公開番号】特開 2020-147782 (P2020-147782A)

【公開日】令和 2 年 9 月 17 日 (2020.9.17)

【年通号数】公開・登録公報 2020-038

【出願番号】特願 2019-44899 (P2019-44899)

【国際特許分類】

B 2 2 F 3/16 (2006.01)

B 2 2 F 3/105 (2006.01)

B 2 2 F 3/24 (2006.01)

B 2 2 F 1/00 (2022.01)

C 2 2 C 19/05 (2006.01)

B 3 3 Y 10/00 (2015.01)

B 3 3 Y 80/00 (2015.01)

10

【F I】

B 2 2 F 3/16

B 2 2 F 3/105

B 2 2 F 3/24 C

B 2 2 F 1/00 M

C 2 2 C 19/05 C

B 2 2 F 3/24 F

B 3 3 Y 10/00

B 3 3 Y 80/00

20

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 1 月 13 日 (2022.1.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

30

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

パウダーベッドフュージョン装置としては、EOS 社製の EOS M290 を用いた。この装置では、レーザスポット径 D がメーカー側で 0.08 mm に設定されている。中間体を製造する際の各層の厚さを 40 μm、各層上にレーザを照射する際の走査線の間隔を 0.05 mm、レーザ走査速度を 1000 mm/s、レーザ出力を 180 W、走査回転角を 90 度とした。

【手続補正 2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

上記のアスペクト比の相違は、中間体の配向率に起因するものと推定される。すなわち、実施例 1A ~ 3A, 1B ~ 3B の中間体では配向率が 50 % 以上 (すなわち、40 % 以上) であるのに対し、比較例 1A ~ 4A, 1B ~ 4B の中間体では配向率が 40 % 未満であった。

50